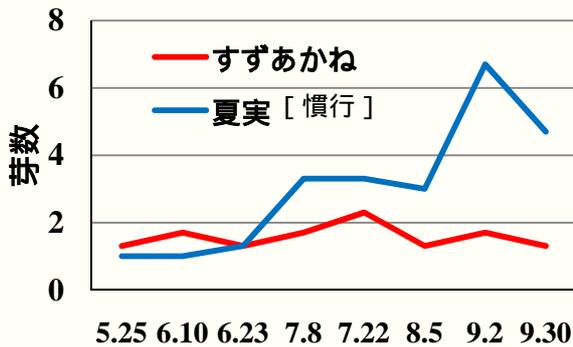


「すずあかね」を夏秋イチゴ品種として選定

本県の夏秋どりイチゴは、夏期冷涼な高原地帯の郡上市高鷲町、高山市丹生川町等で栽培されていますが、産地としての歴史は浅く、生産量も不安定であることから、安定生産のための栽培技術の確立、地域に適合した新品種の育成・選定が望まれています。

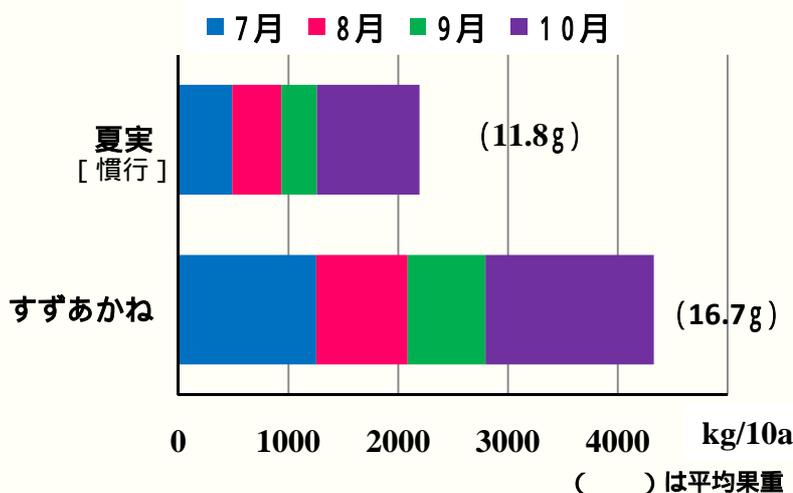
そこで、2008年度から地域の農業普及課と共同で現地試験を中心に研究した結果、本県産地に適応する品種として「すずあかね」を選定しました。



芽数の推移



夏秋どりイチゴの栽培風景



収量と平均果重



果実が大きい「すずあかね」

(研究成果)

- ・本県夏秋イチゴ栽培地域に適する品種として「すずあかね」を選定しました。
- ・「すずあかね」の特徴
 - 長日・高温条件でも花房が安定して付きます。
 - 慣行の品種（夏実）より大果で高い収量が期待できます。
 - 芽かきをする必要が無く、省力化が図れることから、面積拡大も可能です。
- ・大果・高収量、省力的であることから高収益が期待できます。